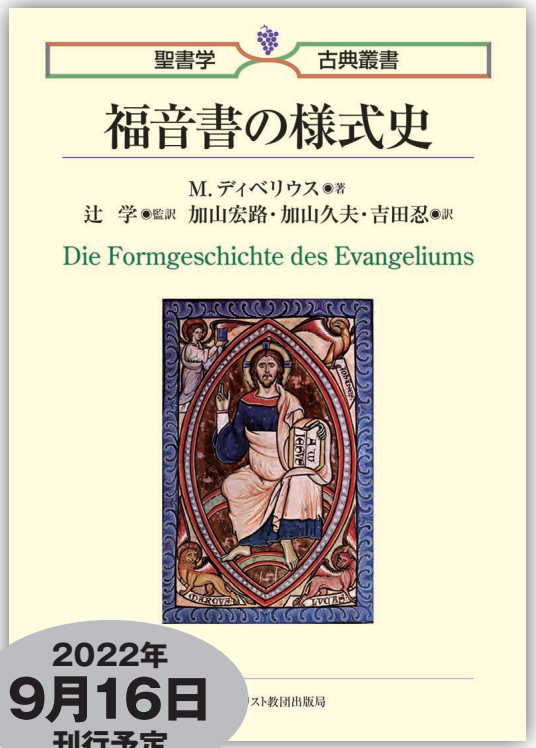
◆2022年9月の新刊　日本キリスト教団出版局

聖書学古典叢書
《第4回配本》

福音書の様式史

今なお引用される、
近現代聖書学における
古典的名著を本邦初訳



2022年
9月16日
刊行予定

M. ディベリウス 著

新約聖書批評学の先駆者。1883年ドレスデン生まれ。R.ブルトマンと共にH.グンケルに師事。セム語研究により学位を取得。ベルリン大学講師を経てハイデルベルク大学新約学教授・学長。1947年死去。

辻 学（つじ まなぶ） 監訳

1964年神戸市に生まれる。関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了（神学修士）、スイス・ベルン大学にてDr. theol.取得。現在、広島大学大学院人間社会科学研究科教授。

加山宏路（かやまこうじ） 訳

1930年大阪市に生まれる。1953年大阪基督教学院卒業、1957年アズベリー神学校卒業、1958年プリンストン神学校卒業、1970年同志社大学大学院卒業。梅花大学名誉教授。2013年死去。

加山久夫（かやまひさお） 訳

1936年大阪市に生まれる。1961年大阪基督教学院卒業、1964年デュビューク神学校卒業、1971年クレアモント大学院卒業。哲学博士。現在、明治学院大学名誉教授。

吉田 忍（よしだしのぶ） 訳

岩手県に生まれる。弘前大学人文学部卒業。立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学。農村伝道神学校、無教会研修所、関東神学ゼミナールなどで非常勤講師。

説教、聖伝、語録集、勧告……さまざまな様式で伝承されたイエス・キリストの福音を分類し、それらの素材が教会共同体ごとの「生活の座」を反映した形で蒐集・編纂され、福音書に結実する「様式史」を詳細に分析。新約聖書批評学の礎を築いた古典、初の邦訳。

A5判・上製・390頁・定価9,900円（本体9,000円＋税）

ISBN978-4-8184-0906-4　C3016

シリーズ好評発売中

『福音書記者マルコ――編集史的考察』定価4,180円　『ガリラヤとエルサレム――復活と顕現の場が示すもの』定価3,300円
『石器時代からキリスト教まで――唯一神教とその歴史的過程』定価6,600円　　各 A5判・上製